

市民文芸

短歌

令和五年度
阿南市文化祭秋季短歌誌上大会 選

入選 夫亡きあとひたすら短歌に縋りつき早や
十八年の時は過ぎたり 川口 節子

一歳のひとさしゆびは意思を持ちほつべぐ
りぐり南瓜が大好き 竹内 朋子

入選 もらいきて挿し木で育てし夾竹桃梅雨の
晴れ間に初めて咲いた 井上 正恵

入選 ガリガリとバンパー擦ってしまいたり苦
手なバック余儀なくされて 青木 弘子

入選 「シソジューズ幸子が持ってきた」
と大きなメモを残して帰る 佐野 幸子

入選 イヤリングに指輪に首輪みな外し米研ぎ
始む主婦に戻りて 庄野 悦子

入選 病室に見舞いに來ての帰り際夫が差し出
す手の温かさ 十河 慶子

入選 離れ住む娘に睡蓮を見せたくて急ぎスマ
ホに写しておりぬ 京寛 幸美

挿木せし蜂須賀桜満開に
裸電球ともしシニアの花の宴
寄せ墓のかたへに咲ける梅真白
菜の花の風のすきまのかくれんぼ
廃校になる三月の行事板
水温む老の手料理あれやこれ
遠く來て菜の花曇り海近し
一人船釣り糸垂るる春金波
煮て香るおふくろの味露の薑
緑立つテニスボールのはねる音

阿南市俳句連合会 選

川柳

阿南川柳会 選

この坂で出逢った人が今の妻
月仰ぐ今宵わたしはかぐや姫
同窓会病気の数の競い合い
愛されているから弾む割烹着
れんげ草大地一色染め上げる
農業は大地に描く物語
羽化をした僕の姿を見て欲しい
一般応募

住み着いて訛りに染まる温い土地
座らせてあげてと思う兵馬俑
百まではちよつと無理です軍資金

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

俳句

阿南市俳句連合会 選

漢詩

阿南漢詩研究会・青松吟社 選

四國靈場第二十一番太龍寺

吉形 和恵

幽間小徑鯨音響

幽に小徑に聞こゆ鯨音の響き

深繞巨杉靈境間

深く巨杉を繞らす靈境の間

恭昵變遷千歲史

恭しく昵づく変遷 千歳の史

適西高野是仙寰

適に西の高野 是仙寰

初夏偶成

原 美智子

薰風盈袖雨餘天

薰風袖に盈つ 雨余の天

竹徑徘徊聞杜鵑

竹徑の徘徊 杜鵑を聞く

解籜龍孫過十尺

解籜龍孫 十尺を過ぎ

血啼一叫響林邊

血に啼く一叫 林辺に響く

垂櫻感有り

谷口田鶴子

鳥語啾啾夢醒時

鳥語啾啾 夢醒むる時

垂櫻初發玉枝垂

垂櫻初めて発き 玉枝垂る

亡夫會種愛憐樹

亡夫曾て種えし 愛憐の樹

獨賞空庭歲月移

独り空庭に賞して 歲月移る

